

## 「在シアトル日本国総領事公邸において日本酒イベントを開催」

平成28年4月  
日本酒造組合中央会  
海外業務グループ

アメリカは日本酒の輸出先第一位、そして海外での最大消費地ですが、東西沿岸部の大都市以外での認知度はまだまだ低いといえます。当会の本旨である「國酒の認知度向上および正しい知識の普及」において、地方中核都市でのPRが急がれている中、今回在シアトル日本国総領事館の全面協力を得て「Close Encounter with Japanese Sake ~Meet the Brewers from Japan」と銘打ったイベントを共催しました。

2月20日(金)、総領事公邸に蔵元9社・34銘柄が出展し、公邸料理人が自ら寿司を握り、心づくしの料理が並べられ、華やかな内にイベントはスタートしました。

冒頭、大村総領事から流暢な英語での開会ご挨拶を頂きました。当会海外戦略委員長(増田徳兵衛)の共催者挨拶に続いて当会濱田由紀雄理事による酒セミナーを行いました。参加者約80名に向けて、日本酒がGI(Geographical Indication)呼称を認められたことを中心にした内容で、皆様、熱心に清聴されていました。

セミナーに続いて、地元シアトルで日本酒の啓発活動をされている宮城さちこ氏が日本酒の楽しみ方等文化面でのお話をアメリカでの体験談を交えて講演され、皆様の興味喚起につながったと感じました。



セミナー・講演の後はメインイベントの試飲会です。

9社のブースに蔵元代表者が立ち合い、皆様、シアトルでは入手困難な蔵元自慢の日本酒に興味深く次々と試飲していました。蔵元と直接コミュニケーションが取れたことを喜んでおられる方が目立ちました。

「この酒はどこで買えるのか?」「シアトルでは買えないですね～」というやり取りが方々で聞こえてきたことは当会を含め日本酒業界全体に対する叱責と受け止め、今後とも地道に活動していかなばならないと肝に銘じた次第です。



大塚剛首席領事による卓抜な中締めのご挨拶に皆さま笑顔の中、閉会となりました。

当会としては引き続き「國酒の知名度向上と正しい知識の普及」を通じて世界に向けて國酒の魅力を伝えながら商流拡大の基盤造りに努力してまいります。

引き続き海外への「窓」である外務省、在外公館のご支援をお願いしつつ、今回のイベントが盛会裏に終了したことを感謝いたします。

